

畜 号 外
令和 2 年 2 月 26 日

一般社団法人岩手県畜産協会会長理事
一般社団法人岩手県獣医師会長
岩手県農業共済組合長理事
岩手県動物薬品器材協会長
一般社団法人岩手県配合飼料価格安定基金協会理事長
公益社団法人岩手県農畜産物価格安定基金協会会長理事

様

岩手県農林水産部
畜産課総括課長

沖縄県の養豚農場において CSF の疑似患畜 (国内 57 例目) が確認されたこと
に伴う防疫対策の再徹底について
このことについて、農林水産省からプレスリリースされましたので、お知らせします。
つきましては、会員等に対し、飼養衛生管理基準の遵守徹底や、異状確認時の家畜保健
衛生所への早期通報について、引き続き、注意喚起くださるようお願いいたします。

1 国プレスリリース

沖縄県における CSF の患畜の確認 (国内 57 例目) について

https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/200225_6.html



沖縄県におけるCSFの疑似患畜の確認(国内57例目)について

本日、国内56例目の移動制限区域内にあり監視対象となっていた沖縄県うるま市の農場においてCSFの疑似患畜が確認されました。
本病の防疫措置等について万全を期します。
現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあることなどから厳に慎むよう御協力をお願いいたします。

1. 発生農場の概要

所在地：沖縄県うるま市
飼養状況：1,039頭

2. 経緯

- (1) 沖縄県は、2月24日（月曜日）、国内56例目の移動制限区域内にある農場においてCSFの清浄性確認検査を行うため、家畜防疫員による立入検査を実施しました。
- (2) 同日、県により精密検査を実施したところ、本日（2月25日（火曜日））、CSFの疑似患畜であることが判明しました。

3. 今後の対応

- 「CSFに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、以下の防疫措置等について万全を期します。
- (1) 当該農場の飼養豚の殺処分及び焼埋却等の必要な防疫措置を迅速かつ的確に実施します。
 - (2) 感染拡大防止のため、発生農場周辺の消毒を強化し、主要道に消毒ポイントを設置します。
 - (3) 感染経路等の究明のため、国の疫学調査チームを派遣します。
 - (4) 本病の早期発見及び早期通報の徹底を図ります。
 - (5) 関係府省と十分連携を図るとともに、生産者、消費者、流通業者等への正確な情報の提供に努めます。
 - (6) 農場の消毒や野生動物の農場への侵入防止等の飼養衛生管理基準の遵守に関する指導を徹底します。
 - (7) 感染経路等の究明及びまん延防止のため、あらゆる可能性を想定し調査します。

4. その他

- (1) CSFは、豚、いのししの病気であり、人に感染することはありません。
- (2) 現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあること、農家の方のプライバシーを侵害するおそれがあることなどから厳に慎むよう御協力をお願いいたします。特に、ヘリコプターやドローンを使用するの取材は防疫作業の妨げとなるため、厳に慎むようお願いいたします。
- (3) 今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、生産者等の関係者や消費者は根拠のない噂などにより混乱することがないように、御協力をお願いいたします。

【お問合せ先】

消費・安全局動物衛生課

担当者：山野、下平

代表：03-3502-8111（内線4582）

ダイヤルイン：03-3502-8292

FAX：03-5512-2293